

WSUS 非推奨への備え Microsoft Intune による ライフサイクル管理へ

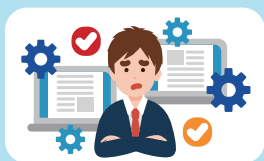
Windows Autopilot で 削減される5つ



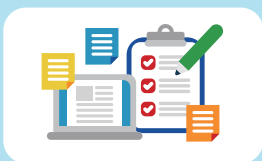
キッティングや保管に必要なスペースや倉庫



キッティングをするための時間と労力



デバイスの調達や運用管理に費やす時間と労力



マニュアル作成や検証に費やす時間と労力



利用者がデバイス設定などに費やす時間と労力

WSUS (Windows Server Update Services) 非推奨 へ

Microsoft は将来的に Windows Server Update Services (WSUS) を非推奨とする計画であることを発表しました。具体的には、今後はWSUSに対する新たな機能の実装や新機能のご要望を受けることができなくなります。

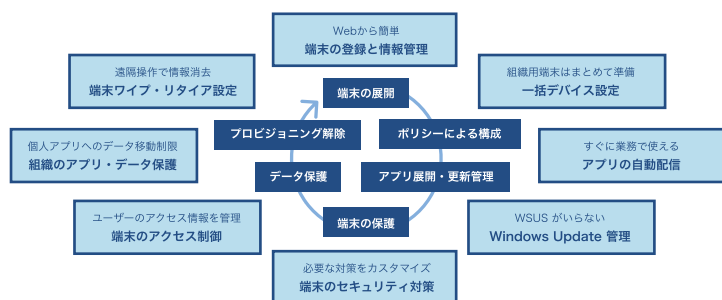
今後のクライアント更新管理にはWindows AutopatchやMicrosoft Intune、サーバー更新管理にはAzure Update Managerなどのクラウドツールへの移行をお勧めします。

出典・Windows Blog・Windows Server Update Services (WSUS) が非推奨に

Microsoft Intune による ライフサイクル

WSUS は長年にわたり企業内でオンプレミスで Windows更新プログラム を管理・配布を担ってきましたが、VPN環境下でしか動作しない、承認管理が属人化する、更新遅延によるセキュリティリスクがあるといった課題があります。また WSUS では在宅勤務のPCを管理できず、結果的に更新漏れが常態化しているケースがあります。Microsoft は「Windows Autopilot と Microsoft Intune を組み合わせたモダン展開が主流になる」と提示しており、今後 WSUS に固執する運用は、情シスのリソースを消耗し続ける結果にしかならないことが明白です。

Microsoft Intune を使えばクラウド経由でポリシー配信・アプリ管理・パッチ適用が可能となり、VPN不要で統合的な管理が行えます。



出典：PC-Webzine - [PR] 期日が迫るWindows 10 EOSとEOS後も続くAI PCのビジネスチャンスを紹介

WSUS に代わるクラウド更新・管理手法

Windows Update クライアントポリシー

旧称: Windows Update for Business

Microsoft Intune に統合される形で活用される Windows更新管理 の機能

- 更新リングにより、配信タイミングや適用猶予期間を柔軟に管理
- グループ単位の段階的展開(先行部署→全社)なども可能
- WSUS のようなローカル承認は不要

出典・Microsoft Learn・Windows Update クライアントポリシー

Windows Autopatch

Microsoft が更新管理を代行する「自動更新運用サービス」

- Microsoft がセキュリティ更新・品質更新を管理・適用
- 月例パッチ・緊急対応も自動でロールアウトされる
- Microsoft Intune 管理下で適用され、検証済みの更新のみ展開

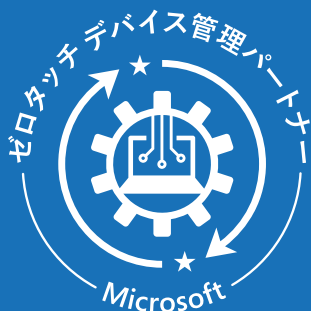


出典・Microsoft Learn・Windows Autopatch

WSUS と Intune の機能比較

	WSUS	Microsoft Intune
配信方法	オンプレミスサーバ	クラウド (Microsoft 365)
テレワーク対応	×	◎ (VPN不要)
パッチ適用の即時性	△ (承認後に手動配布)	◎ (自動スケジュールまたは強制)
管理工数	多い (承認・検証・配布が属人)	少ない (ポリシーで自動化)
セキュリティ対応リスク	高い (遅延・対応漏れが多い)	低い (即時適用可能)
管理端末のカバレッジ	社内端末のみ	社内外問わず一元管理可能
再起動タイミングの制御	手動制御	ユーザーごとにスケジュール可能





ゼロタッチデバイス管理パートナー認定 DISオリジナル支援プログラム

ダイワボウ情報システムでは、
「Microsoft Intune」と「Windows Autopilot」を活用した
ゼロタッチデバイス管理のノウハウ習得を希望するパートナー様を支援しています。

認定のメリット

- ・日本マイクロソフトのサイトで認定パートナーとして告知
- ・ご紹介できる案件が発生した場合、認定パートナーを優先
- ・プリセールスの為の技術・検証支援が必要な場合の窓口を提供
- ・最新の情報を提供するイベント・勉強会へ優先的にご招待
- ・認定パートナー支援のためのコミュニティへご招待
- ・認定者にはロゴデータを提供

認定の条件

- ・Windowsデバイス、Microsoft 365 の導入支援を行うパートナー
- ・ゼロタッチ導入・展開の提案が可能
- ・担当者が、日本マイクロソフト指定の認定プログラムを受講
- ・エンドポイント管理者 認定資格 MD-102 に1名以上合格

DISオリジナル支援プログラム

認定者がソリューションを即時提案できることを目標とした
実践的なトレーニング・公式資格取得のためのコース

1 認定希望の旨を日本マイクロソフト認定
プログラム事務局まで連絡

2 日本マイクロソフトのゼロタッチ
オンデマンドウェビナーの受講

3 エディフィストラーニングによる
認定トレーニング受講

4 「MD-102 エンドポイント管理者」
試験対策セミナー

5 「MD-102 エンドポイント管理者」
受験パウチャー

6 DISオリジナルハンズオントレーニング

7 DISオリジナルサービス検証・PoC支援

<https://www.idaten.ne.jp/portal/page/out/wmbc/zerotouchpartner.html>



DISオリジナルコンテンツ

自己学習や検証、提案に活用できるチラシやホワイトペーパー、動画を公開

<https://www.idaten.ne.jp/portal/page/out/wmbc/downloadcontents.html>

